

学会に参加される方へのお知らせ

*大会受付

1. 参加受付は、6月27日(土)・28日(日)両日とも午前9時から5号館2階ホールでおこないます。
2. 事前参加申込(参加費等の振込)をされた方は事前参加申込受付で、当日参加の方は当日参加受付でそれぞれ受付をすませてください。
3. 名札に氏名・所属をご記入いただき、会場では必ず着用してください。
4. 学会員で年会費7000円(学生4500円)を未納の方、および本学会への新規入会希望の方は、受付に併設されている学会事務局受付にて年会費をお納めください。

*昼 食

○27日(土)・28日(日)は5号館1階 *Café Pensée* をご利用いただけます。営業時間は27日(土)11:00～14:30、28日(日)12:00～13:30 までとなっております。

*懇 親 会

日 時:6月27日(土) 18:00～20:00

会場:甲南大学5号館1階 *Café Pensée*

*体験学習ワークショップ

- 体験学習ワークショップに参加ご希望の方は、大会受付に設置してある「ワークショップ申込用紙」に氏名・所属等をご記入いただき、お申込みください。人数制限のあるワークショップでは、申込多数の場合は、先着順で受け付けます。なお、ワークショップの参加費は大会参加費に含まれていません。

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ①サイモントン療法 | 講師:田村祐樹(彦根市立病院緩和ケア科) |
| ②ナラティブ・アプローチ | 講師:中川 晶(大阪産業大学) |
| ③アロマセラピー | 講師:相原由花(関西医科大学) |
| ④ミュージックセラピー | 講師:石井豊子(アイ・プロジェクト統合医療研究所) |

- 体験学習ワークショップは、学会認定健康行動科学士資格研修の選択実習科目(1単位)として認められます。単位登録ご希望の方は、当日受付にて登録用紙に必要な事項をご記入の上、お申し込みください。ワークショップ終了後に単位登録用紙と引き換えに受付にて登録証を受領してください。なお、一日コースの料金で当該ワークショップに参加される場合は、参加はできますが、単位登録はできませんので、ご注意ください。

*本キャンパスでは、全面駐車禁止となっております。お車での構内への乗り入れはご遠慮ください。

一般演題(口頭発表・ポスター発表)について

*「口頭発表」発表者の方へ

- ①発表者は当該セッション開始 30 分前までに、大会受付(5号館2階ホール)で「発表者登録」を済ませてください。
- ②発表者は当該セッション開始5分前までに各会場の当該セッション座長にお声をかけてください。

- ③ 発表者一人あたりの持ち時間は 20 分です。発表は 15 分以内とし、残りの時間は質疑応答に充てます。その間、座長の指示に従ってください。
- ④ 口頭発表では、各会場に設置されたパソコン (Windows PC) と液晶プロジェクターをご使用ください。PC の操作は発表者ご自身で行なってください。各自でお持ちいただいた PC は利用できません。またプリントアウトした原稿を1部ご用意ください。
- ⑤ 設置 PC の PowerPoint バージョンは 2003 です。2007 形式で作成されたデータは、必ず 97-2003 形式で保存しなおしてください。
- ⑥ USB 対応の記憶媒体 (フラッシュメモリ)、もしくは CD-ROM でデータをご持参ください。安全のために、前半の部の発表者は 9:00~9:25 までに、後半の部の発表者は 10:30~10:40 までに、会場備付の PC にデータをコピーしておくことをお奨め致します。
- ⑦ 配布資料がある場合は、各自で印刷し、40~50 部程度ご用意ください。

***PC使用について** 昨今 USB メモリを媒介にしてコンピュータに感染するウィルスの被害が多発しております。危険なファイルが見つかった場合、データをコピーすることができません。必ず事前に最新のバージョンのウィルス対策ソフトで USB メモリをチェックし、安全性を確認してからお持ちください。

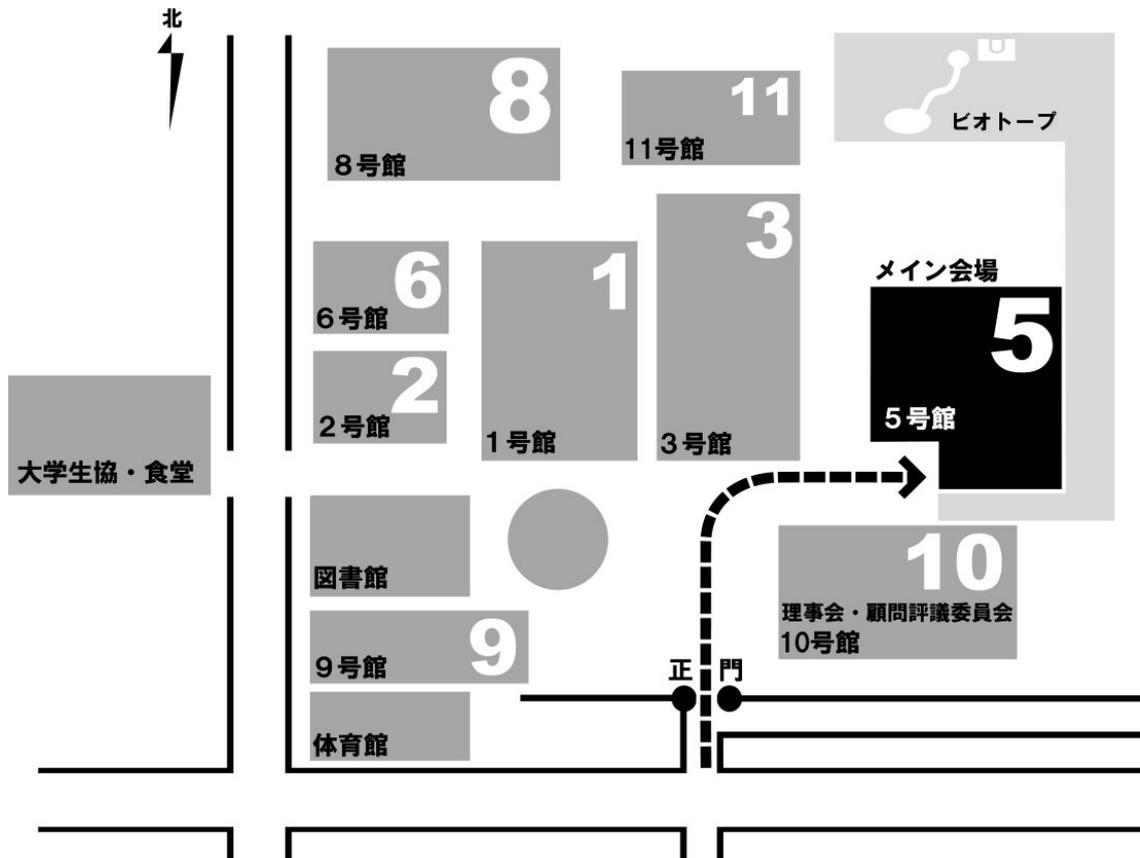
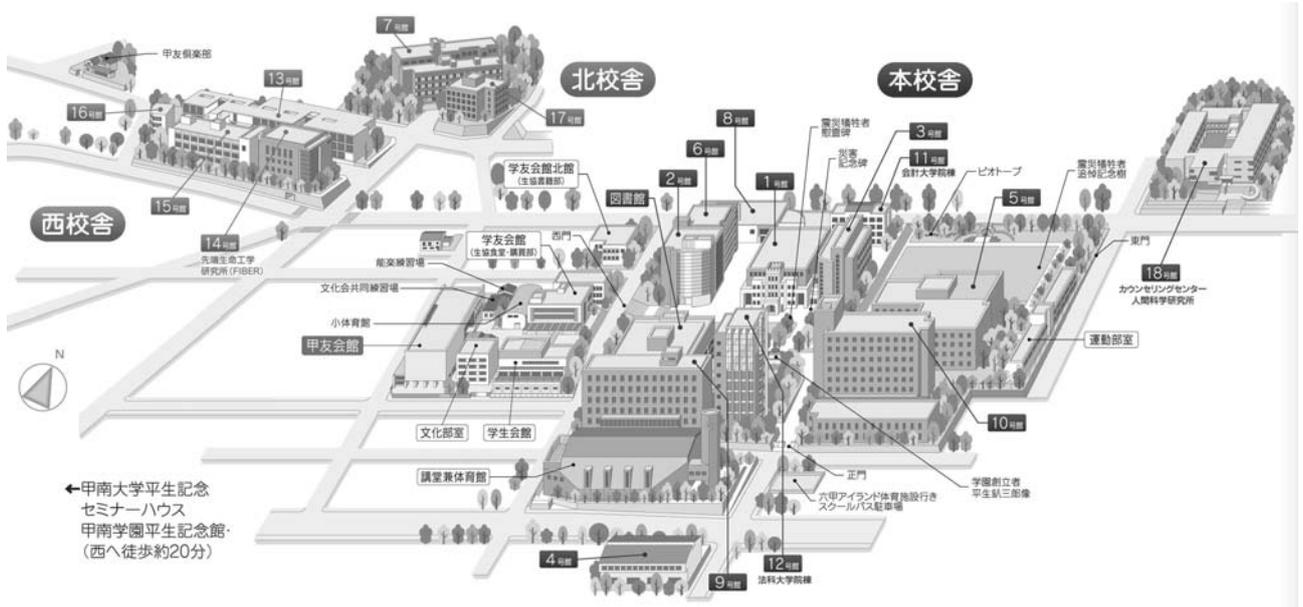
***「ポスター発表」演者の方へ**

- ① 演者はポスターを掲示する前に、大会受付で「発表者受付」を済ませてください。
- ② 大会第1日目 (27 日) の午前 10:00 から、5号館2階のポスター・セッション会場に設置されたパネルの指定された場所にポスターを各自で掲示ください。ご来場後、できるだけ早い時間帯に掲示くださいますよう、お願い致します。掲示用の押しピンは受付で用意します。
- ③ ポスター発表のパネルは横 90cm×縦 200cm です。ポスターの最上部中央に、発表タイトル、演者 (共同研究者を含む)、所属を明記してください。なお、演題番号は事前に表示してあります。
- ④ ポスター発表の討議 (質疑応答) の時間は、2日目 (28 日) の 12:00~13:00 に設けています。各発表者は、いつでも質疑応答ができるように、必ず自分のポスター展示の前に待機しておいてください。質疑応答は、演題ごとに随時、個別に行なってください。不明な点などがありましたら、各セッションの座長におたずねください。
- ⑤ 発表者は第2日目 (28 日) の午前 11:50 までに、ポスター・セッション会場 (5号館2階フロア) の当該セッション座長に申し出てください。
- ⑥ ポスター発表終了後、15:00 までにポスターを各自で取り外してください。

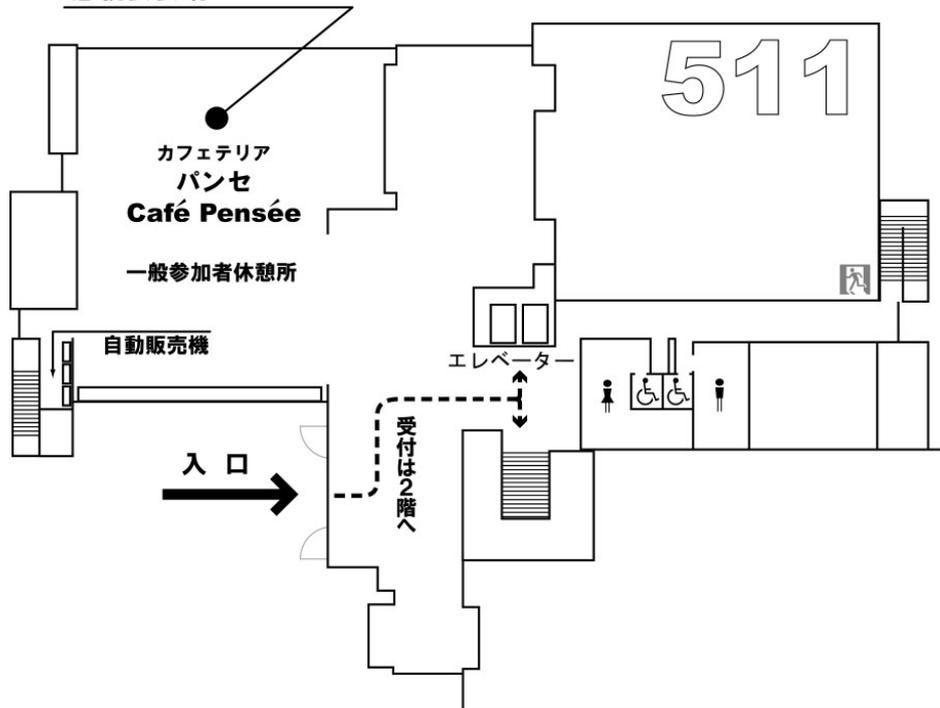
***口頭・ポスター発表座長の先生方へのおねがい**

- ① 座長は、担当セッションの開始 30 分前までに、5号館2階ホールの受付で「座長受付」をお済ませください。
- ② 担当セッションの開始 10 分前までに会場へお越しいただき、発表者の確認をお願いします。
- ③ 第2日目 12:00~13:00 ポスター発表・討論では、発表者は 11:40 に2階フロアにお集りいただき、座長から進行方法についての説明を行なってください。
- ④ 口頭発表者が欠席の場合は、適宜発表を繰り上げて進行をお願い致します。繰り上げができない場合は、予定どおり進行してください。

会場案内



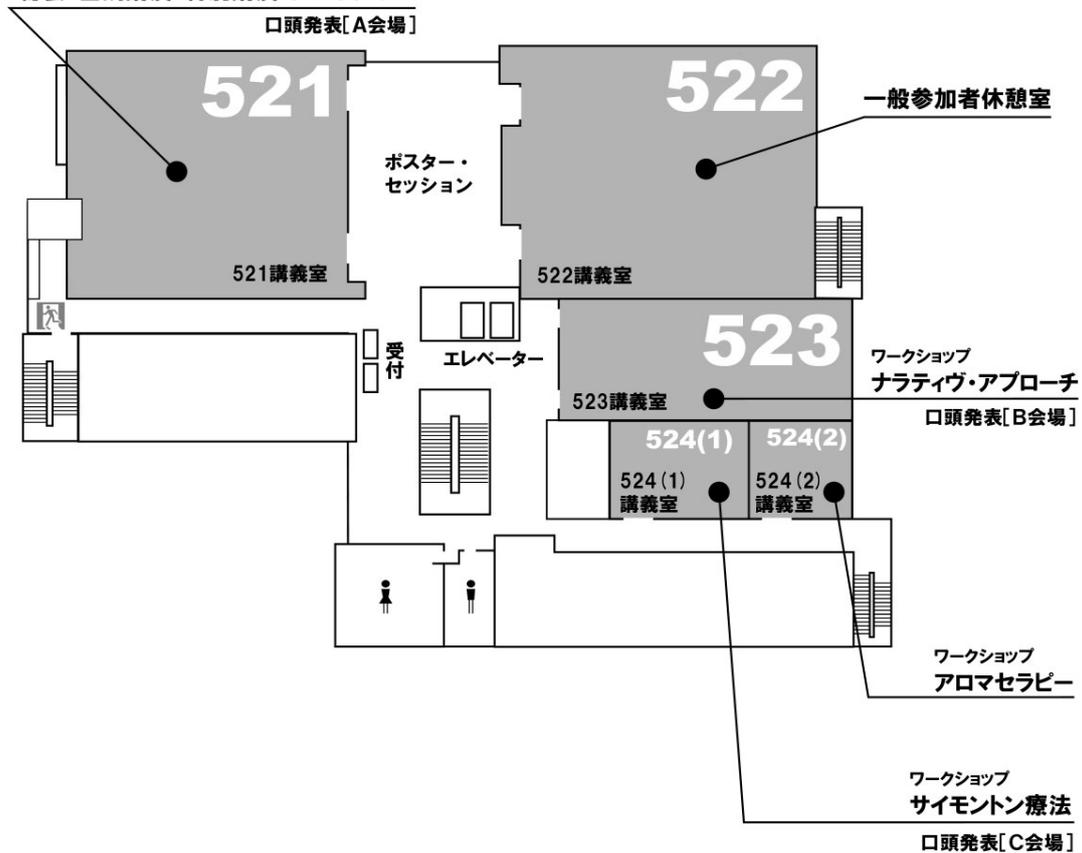
懇親会会場



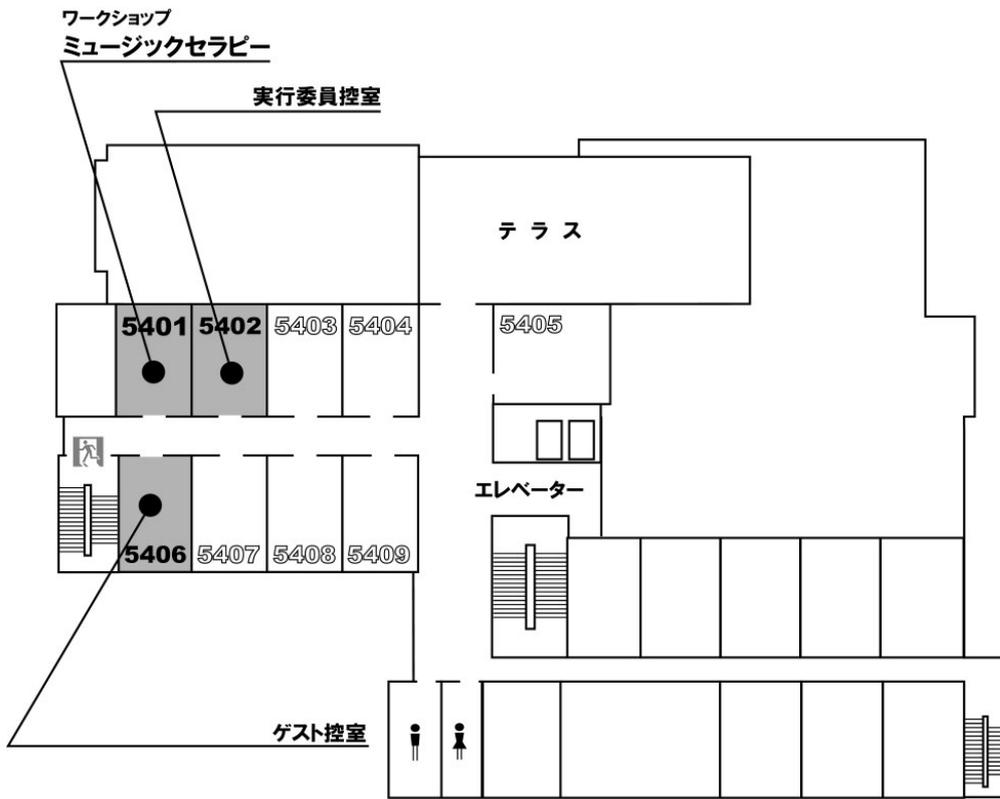
5号館1階

総会・基調講演・特別講演・シンポジウム

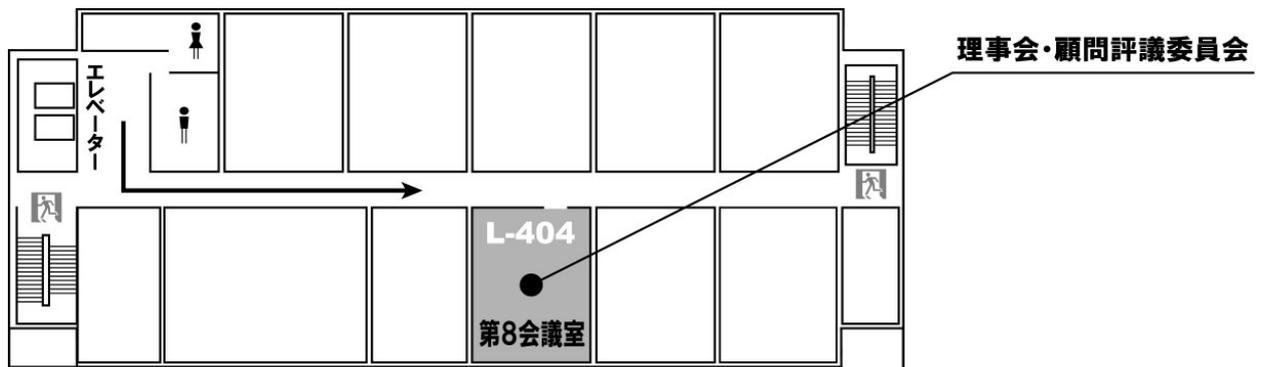
口頭発表[A会場]



5号館2階



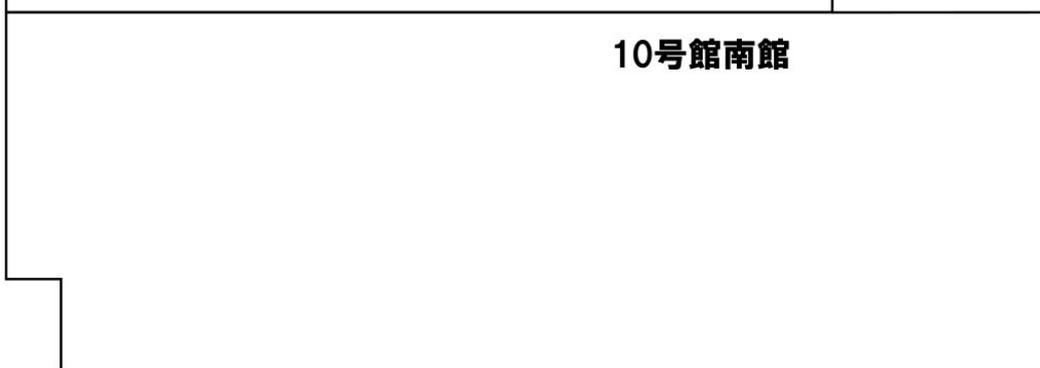
5号館4階



10号館北館



※1階エントランスよりエレベーターで4階へ



10号館南館

10号館4階（理事会・顧問評議委員会）

タイムテーブル

6月27日(土)

会場名・時間	9:30~12:00	12:00~13:30	13:30~14:00	14:00~15:00	15:15~17:45	18:00~20:00
522	一般参加者休憩室					
521	口頭発表《A会場》		大会挨拶・総会	基調講演		
523	口頭発表《B会場》				WS ナラティブ・アプローチ	
524(1)	口頭発表《C会場》				WS サイモント療法	
524(2)					WS アロマセラピー	
5401					WS ミュージックセラピー	
5402	実行委員控室					
5406	ゲスト控室					
10号館4階L-404		理事会/顧問・評議委員会				
2階フロア	10:00~18:00 ポスター・セッション (*10:00~掲示・準備開始)					
Café Pensée		11:00~14:30 営業・昼食				懇親会
大学生協食堂						

6月28日(日)

会場名・時間	9:30~12:00	12:00~13:30	13:30~14:30	14:45~17:30	17:30~17:40
522	一般参加者休憩室				
521	口頭発表《A会場》		特別講演	シンポジウム	閉会の辞
523	口頭発表《B会場》				
5402	実行委員控室				
5406	ゲスト控室				
10号館4階L-404		12:30~13:30 理事会			
2階フロア		12:00~13:00 ポスター発表・討論		15:00 撤収作業	
	ポスター・セッション				
Café Pensée		営業・昼食			

大会プログラム



期 日: 2009年6月27日(土)~28日(日)

会 場: 甲南大学(兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1 / <http://www.konan-u.ac.jp/access/index.html>)

参加費: 会 員(一般) 5000円 非会員 6000円 学 生 3000円 1日コース 3000円

懇親会: 一般(会員・非会員) 5000円 学 生 3000円



□ 第1日目: 6月27日(土)

9:00	受付/開場	(5号館2階ホール)
9:30	開会宣言	
9:30-12:00	一般演題・口頭発表	(5-21・23・24(1)講義室)
12:00-13:30	昼休み	
	12:00-13:15	理事会/顧問・評議員会 (10号館4階第8会議室)
13:30-14:00	大会挨拶・総会	(5-21 講義室)
14:00-15:00	基調講演「ヘルスケアと医療倫理」	谷口文章 氏(第24回大会長) 司会: 岡 美智代 氏(群馬大学)
15:15-17:45	体験学習ワークショップ	
	①サイモントン療法	講師: 田村祐樹 氏(彦根市立病院) (5-24(1)講義室)
	②ナラティヴ・アプローチ	講師: 中川 晶 氏(大阪産業大学) (5-23 講義室)
	③アロマセラピー	講師: 相原由花 氏(関西医科大学) (5-24(2)講義室)
	④ミュージックセラピー	講師: 石井豊子 氏(アイ・プロジェクト統合医療研究所) (5-401 講義室)
18:00-20:00	懇親会(甲南大学5号館1階 <i>Café Pensée</i>)	

体験学習ワークショップは認定健康行動科学士資格研修の選択実習科目(1単位)として認められます(当日、受付にて登録が必要です)。

□ 第2日目: 6月28日(日)

9:00	受付/開場	(5号館2階ホール)
9:30-12:00	一般演題口頭発表	(5-21・23・24(1)講義室)
12:00-13:00	一般演題ポスター発表・討論	(5号館2階ホール)
12:00-13:30	昼休み	
	12:30-13:30	理事会 (10号館4階第8会議室)
13:30-14:30	特別講演「日本におけるグリーフケアの課題」	(5-21 講義室) 高木慶子 氏(聖トマス大学客員教授・「生と死を考える会全国協議会」会長) 司会: 谷 莊吉 氏(高齢者ケアセンター甲南診療所)
14:45-17:30	シンポジウム「気づきと行動変容のために」	(5-21 講義室) モデレーター: 元村直靖氏(大阪教育大学)・任 和子氏(京都大学医学部附属病院) 「グリーフケア—悲しみに寄り添う—」 坂口幸弘氏(関西学院大学) 「いのちの自立への支援を問う」 内藤いづみ氏(ふじ内科クリニック) 「笑いとか—笑いの治療力—」 西松央一氏(西松医院) 「こころは egao になれたかな?—小児科ボランティア活動における気づき—」 神田美子氏(京大病院小児科ボランティアグループ「にこにこトマト」)
17:30-17:40	閉会の辞	

研 究 発 表

— 口 頭 発 表 —

一日目(27日(土))

《9:30~10:30》

【セッション:1-A】 **メンタルヘルス I**5-21 講義室

座長:元村 直靖(大阪教育大学大学院), 橋本 尚子(大阪産業大学)

1-A-①:緩和ケアにおける非言語的コミュニケーション—沈黙—の重要性

○園田 繭美(大阪済生会中津看護専門学校)・山崎裕美子(園田学園女子大学)

1-A-②:喫煙とメンタルヘルスに関しての考察

○三浦秀史(禁煙マラソン)・高橋裕子(奈良女子大学)・東山明子(畿央大学)

1-A-③:構造方程式モデリングを用いた統合失調症患者におけるリスクの認知を規定する因子の検討

小野 弘(浜松大学保健医療学部作業療法学科)

【セッション:1-B】 **ヘルスケア**5-23 講義室

座長:柳井 勉(関西福祉科学大学), 佐藤 林正(九州看護福祉大学)

1-B-①:コミュニケーションと仲間づくりが脳活性の効果の鍵—認知症予防教室から—

花家 薫(堺市健康増進課)

1-B-②:統合失調症をもつ長期入院患者の首尾一貫感覚, 主観的健康統制感調査

○山口知代(大阪府立大学)・元村直靖(大阪教育大学大学院)

1-B-③:女子大学生のもつ「医薬品と健康」に関する意識とその実態—「学校保健」履修学生の受講結果より—

林 照子(園田学園女子大学)

【セッション:1-C】 **ストレスマネジメント**5-24(1) 講義室

座長:中川 晶(大阪産業大学)

1-C-①:被爆者の体験と二世, 三世への影響—ある被爆三世代のナラティブ分析より—

澤田愛子(日本赤十字北海道看護大学)

1-C-②:糖尿病性腎症患者における糖尿病治療・療養中断に対する思い

○恩幣宏美(群馬大学医学部保健学科)・小松 実恵子・岡美智代(群馬大学医学部附属病院)

《10:40~12:00》

【セッション:1-A】 **メンタルヘルス II**5-21 講義室

座長:谷 荘吉(高齢者ケアセンター甲南診療所), 守本 とも子(奈良県立医科大学)

1-A-④:ターミナル期患者をより良い最期に導く看護についての—考察—独居患者の在宅死を経験して—

○吉川奈緒美(大阪厚生年金病院)・山崎裕美子(園田学園女子大学)

1-A-⑤:質量統合情報システムを用いた大学生のメンタル情報の収集と解析

○金子学(株建設技術研究所 国土文化研究所)・宗像恒次(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)・
針尾大嗣(摂南大学 経営情報学部)

1-A-⑥:心的外傷からの回復と補完代替療法

平埴昭一(ストレスケア日比谷クリニック)

【セッション:1-B】 **患者の心理**5-23 講義室

座長:上野 轟(大阪教育大学名誉教授), 村田 正章(兵庫医科大学)

1-B-④:障害者(患者)と／(医療従事者)との理解を通じて 口唇口蓋裂患者とのコミュニケーション技法に対する—考察—

津澤雅子(大阪大学歯学部附属病院)

1-B-⑤:メンタルヘルス不調を予防するSAT法による個別介入研究

○山本 美奈子・宗像 恒次(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

1-B-⑥:実習時における患者の拒否のされ方の違いによる看護学生のストレス反応および対処行動について

○小幡邦恵(大森赤十字病院)・逸見 功(日本赤十字看護大学)

1-B-⑦: がん患者の子どもへの病状説明と予期悲嘆

小島ひで子(北里大学看護学部)

【セッション:1-C】 医療人類学……………5-24(1)講義室

座長:仲尾 唯治(山梨学院大学), 馬込 武志(湊川短期大学)

1-C-③:北部タイ・HIV/AIDS 感染者の ARV 治療をめぐる受容と拒絶のメカニズム

日野智豪(上智大学アジア文化研究所)

1-C-④:医療人類学的視点からみた透析患者の食生活—食卓に映る家族の存在—

○米田香織(済生会前橋病院栄養科)・岡美智代(群馬大学医学部保健学科)・恩幣宏美(群馬大学医学部保健学科)・森山美知子(広島大学大学院保健学研究科)

1-C-⑤:自然人類学的視点からケアの起源に迫る

藤田 尚(新潟県立看護大学人間環境科学領域)

1-C-⑥:緩和ケア病棟において医療従事者が直面する困難:医療人類学からのアプローチ

松岡秀明(淑徳大学)



二日目(28日(日))

《9:30~10:30》

【セッション:2-A】 ストレス・質的研究……………5-21 講義室

座長:朝倉 京子(東北大学大学院), 諏訪 茂樹(東京女子医科大学)

2-A-①:看護師の表層演技における感情反応と感情管理の傾向

谷口清弥(甲南女子大学看護リハビリテーション学部)

2-A-②:がん患者とのかかわりの中での看護師のゆらぎ

林 美奈子(目白大学看護学部看護学科)

2-A-③:中学校の性教育担当者の現状と課題に関する質的研究—養護教諭に焦点をあてて—

○渡部真奈美(新潟県立看護大学), 橋本紀子(女子栄養大学), 茂木輝順(女子栄養大学), 良香織(女子栄養大学), 小宮明彦(女子栄養大学), 鈴木幸子(埼玉県立大学), 池谷壽夫(日本福祉大学), 田代美江子(埼玉大学), 広瀬裕子(専修大学), 篠原久枝(宮崎大学), 森岡真梨(女子栄養大学)

【セッション:2-B】 行動変容……………5-23講義室

座長:紺井 拓隆(大阪歯科大学), 吉岡 隆之(神戸市看護大学)

2-B-①:開発途上国における医療受診抑制因子と行動変容トリガー—ネパールの国際眼科医療援助の事例から—

松田 聡(仲上アイクリニック・アジア眼科医療協力)

2-B-②:深層心理学と宗教性

山口 豊(筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻)

2-B-③:青森県民の胃がん・大腸がん・肺がんの予防にまつわる認識と行動

山崎浩司(東京大学大学院人文社会系研究科)

《10:40~12:00》

【セッション:2-A】 ナラティブ.....5-21 講義室

座長:楡木 満生(立正大学名誉教授), 森岡 正芳(神戸大学)

2-A-④: 子ども家庭福祉専門職を対象としたナラティブ・アプローチの学習成果に関する検討(1)―講座内容と学びのふりかえりとの関連から―

○木村拓磨・新川泰弘(三重中京大学短期大学部)・中川 晶(大阪産業大学・なかがわ中之島クリニック)

2-A-⑤: 子ども家庭福祉専門職を対象としたナラティブ・アプローチの学習成果に関する検討(2)―受講生のレポートにみる状況との対話の視点から―

○新川泰弘・木村拓磨(三重中京大学短期大学部)・中川 晶(大阪産業大学・なかがわ中之島クリニック)

2-A-⑥: 中国残留日本人孤児の語りと自尊感情回復について―朗読劇の参加を通じて―

○富家禎子(大阪産業大学人間環境学研究所)・中川 晶(大阪産業大学人間環境学研究所)

2-A-⑦: 前立腺がん患者の語りデータベース化の取り組み

○澤田明子(いわき明星大学)・朝倉隆司(東京学芸大学)・佐藤(佐久間)りか(ディペックス・ジャパン)・和田恵美子(大阪府立大学)

【セッション:2-B】 SATカウンセリング.....5-23 講義室

座長:岡 美智代(群馬大学), 橋本 佐由理(筑波大学大学院)

2-B-④: 気質, 心理特性, 食事がストレス自覚に与える影響について

○伊藤千春・橋本佐由理(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

2-B-⑤: ダンス・バレエワークアウト実施前後のメンタルヘルスの変化

○稲垣領子・橋本佐由理(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

2-B-⑥: 母親のストレス性格と妊娠・出産期トラブルや育児との関連

○岩永由香(筑波大学大学院)・橋本佐由理(筑波大学大学院)・奥富庸一(倉敷市立短期大学)・樋口倫子(明海大学)

2-B-⑦: 臨床実習における看護学生のストレスマネジメント支援―臨地実習前後の SAT 介入の心理特性変化―

○渡部洋子(帝京平成看護短期大学)・宗像恒次(筑波大学人間総合科学研究科)

— ポスター発表 —

ポスター展示:27日(土)・28日(日)

ポスター発表討議 :28日 12:00~13:00.....5号館2階フロア

座長: 梓川 一(千里金蘭大学)【P01-05】・川口ちづる(奈良県立医科大学)【P06-11】

吉村雅世(奈良県立医科大学)【P12-17】・平岡昌典(平岡歯科医院)【P18-23】

P-01: きょう楽しいことは あしたの元気

京大病院ボランティアグループ「ここにトマト」

P-02: 読み・書き・計算を用いた認知症予防の取り組みについて

花家 薫(堺市健康増進課)

P-03: 認知症高齢者に対するボディワークの試み

○白井雅子(藍野大学医療保健学部作業療法学科)・元村直靖(大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター)

P-04: 気分障害(うつ病)を持つ独居高齢者のセルフケア支援に関する報告―A 地区における独居女性高齢者のインタビュー事例を通して―

奥野久美子(太成学院看護学部, 旭区地域包括支援センター)

- P-05: 終末期看護における主体的意思決定場面へのゲーム理論の適用—遺族へのインタビュー調査より—
松原みゆき(日本赤十字広島看護大学)
-
- P-06: 手記分析によるターミナル期がん患者の病の体験
○小林美咲(山梨大学附属病院看護部)・佐藤都也子(山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- P-07: 終末期がんとともに生きる患者のスピリチュアルペインへの対処の様相
高橋正子(東邦大学医学部看護学科)
- P-08: 離職した元中堅看護師の看護に対する意識
○川合美奈子(千葉西総合病院)・朝倉京子(東北大学大学院医学系研究科)
- P-09: 看護臨床領域におけるジェンダーマイノリティとしての男性看護師の職業体験
○船久保沙織(東京大学医学部附属病院)・朝倉京子(東北大学大学院医学系研究科)
- P-10: 健康大学生におけるハンドマッサージの自律神経活動及び気分への影響
—「1/f ゆらぎ」を有する音楽付加の有無による比較検討—
○関田文代(東京医科大学八王子医療センター)・佐藤都也子(山梨大学大学院医学工学総合研究部)・
山崎裕美子(園田学園女子大学人間健康学部)
- P-11: 睡眠時のラベンダー香り枕使用による心身の変化についての事例検討
○浦 沙彩・山崎裕美子(園田学園女子大学)
-
- P-12: 糖尿病患者への SAT 法介入による血糖改善効果の検討
○橋本佐由理(筑波大学大学院人間総合科学研究科)・樋口倫子(明海大学)・向笠京子(筑波大学大学院人間
総合科学研究科)・村上桐子(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- P-13: 糖尿病患者への SAT 生き方受容支援法による集団介入の試み
○樋口倫子(明海大学)・橋本佐由理(筑波大学大学院人間総合科学研究科)・佐々木京子(筑波大学大学院人
間総合科学研究科)・岩永由香(筑波大学大学院人間総合科学研究科)・村上桐子(筑波大学大学院人間総合科
学研究科)
- P-14: 生活習慣病予防のための行動変容支援と SAT ヘルスカウンセリング
寺嶋昌代(東海学院大学健康福祉学部食健康学科)
- P-15: CV4 テクニックの健康管理としての有用性
加藤豊広(新潟リハビリテーション大学院大学)
- P-16: 中学生の抑うつ・心理特性と対処行動の関連
○時吉佐和子(西南女学院大学保健福祉学部看護学科)・田崎 孝(佐賀整肢学園子ども発達医療センター)
- P-17: 中学生における身体活動水準とストレス反応の関連
○窪田辰政(静岡産業大学経営学部)・宗像恒次(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
-
- P-18: 青年期における身体障害者の将来の見通しと精神的健康
藤田裕一(大阪府立大学大学院人間社会学研究科)
- P-19: 子宮がん再発を経験した女性の追加治療における意思決定に影響する要因—体験手記を通じた質的分析から—
○大場 葵(山形県立中央病院)・内山美枝子(新潟大学医学部保健学科)
- P-20: メタボリックシンドローム予防の視点からみた生活習慣調査—看護学生と親の比較—
○明田朋子(大阪医科大学附属看護専門学校)・元村直靖(大阪教育大学大学院健康科学専攻)
- P-21: 老人保健施設における多職種間の連携スキルに関する探索的研究
○吉田 薫(吉備国際大学社会福祉学部)・横山奈緒枝(吉備国際大学社会福祉学部)・田中共子(岡山大学)・
難波悦子(吉備国際大学社会保健科学部)・細川つや子(吉備国際大学保健科学部)
- P-22: 低位前方切除術後2年経過した患者が体験した排便機能障害と気持ちの変化
○辻あさみ・鈴木幸子(和歌山県立医科大学保健看護学部)
- P-23: 周産期グリーフケアの現状 自助グループ—With ゆう—
○岡崎紀代枝(大精協看護専門学校)・山本弥生(With ゆう)
-